

# 令和4年度 Well-being 客観指標の因子構成

指標分類	因子名称	因子内容	偏差値
身体	医療	健康寿命(平均自立期間)(男性)(+)	39.7
		健康寿命(平均自立期間)(女性)(+)	50.5
		医療施設徒歩圏人口カバー率(+)	27.2
		医療施設徒歩圏平均人口密度(-)	59.4
		一人あたり国民健康保険者医療費(-)	35.2
		一人あたり後期高齢者医療費(-)	42.6
		市町村国保特定健康診断受診率(+)	38.6
	介護・福祉	福祉施設徒歩圏人口カバー率(+)	47.1
		福祉施設徒歩圏平均人口密度(-)	59.3
		人口あたり児童福祉施設数(+)	54.4
		人口あたり障害者施設支援数(+)	73.7
	買物・飲食	商業施設徒歩圏人口カバー率(+)	33.1
		商業施設徒歩圏平均人口密度(-)	60.3
		人口あたり飲食店数(+)	50.1
		可住地面積/飲食店数(-)	35.2
	住宅環境	1住宅あたり延べ面積(+)	61.5
		平均価格(住宅地)(-)	55.0
		専用住宅1m2あたり家賃(-)	57.9
		一戸建の持ち家の割合(+)	57.6
	移動・交通	駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率(+)	30.4
		駅およびバス停徒歩圏人口密度(-)	60.0
		一人あたり小型車走行キロ(-)	35.8
		通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合(+)	37.3
		職場までの平均通勤時間(-)	61.5
	空気・騒音・清潔さ	NOx平均値(-)	60.8
		PM2.5年平均値(-)	51.3
	事故・犯罪	空家率(-)	22.9
		千人あたり刑法犯認知件数*(-)	56.1
		千人あたり交通事故件数*(-)	56.6
	自然災害	自然災害・防災指数(+)	64.9
	環境共生	非可住地面積割合(+)	64.1
		一人あたり年間CO2排出量(-)	41.7
ごみのリサイクル率(+)		47.1	
環境共生指数(+)		51.1	
自然景観	自然景観指数(+)	41.6	

# 令和4年度 Well-being 客観指標の因子構成

指標分類	因子名称	因子内容	偏差値
社会	都市景観	都市景観指数(+)	46.9
	遊び・娯楽	10万人あたり娯楽業（映画館、劇場、スポーツ施設等）の事業所数(+)	52.6
	公共空間	公園緑地徒歩圏人口カバー率(+)	27.9
		人口あたり公園の面積(+)	51.3
		歩道設置率(+)	30.3
		公共空間指数(+)	50.8
	雇用・所得	完全失業率(-)	50.1
		若年層完全失業率(-)	46.9
		正規雇用者比率(+)	60.3
		高齢者有業率(+)	56.1
		高卒者進路未定者率(-)	61.1
		市区町村内で従業している者の割合(+)	60.6
		創業比率(+)	36.7
		納税者一人あたり課税対象所得(+)	43.1
	デジタル生活	自治体DX指数(+)	57.8
		デジタル政策指数(+)	54.3
		デジタル生活指数(+)	58.5
	地域とのつながり	10万人あたり自殺者数(-)	58.7
		拡大家族世帯割合(+)	61.4
		既婚者割合(15歳以上人口)(+)	59.9
		高齢単身世帯の割合(-)	47.1
		居住期間が20年以上の人口割合(+)	60.2
		自治会・町内会加入率*(+)	66.9
		10万人あたり政治団体等の数(+)	51.8
		10万人あたり宗教の事業所数(+)	63.0
		10万人あたりNPOの数(+)	51.0
		10万人あたり都市再生推進法人・UDCの数(+)	47.8
		首長選挙の投票率(+)	59.1
		市区町村議会選挙の投票率(+)	70.1
	子育て	保育所まで1km未満の住宅の割合(+)	30.5
		可住地面積あたり幼稚園数(+)	41.3
		一施設あたり幼稚園児数(-)	55.8
10万人あたり待機児童数(-)		54.2	
合計特殊出生率(+)		61.1	
歳出総額における教育費の構成比(+)		42.0	

# 令和4年度 Well-being 客観指標の因子構成

指標分類	因子名称	因子内容	偏差値
社会	初等・中等教育	可住地面積あたり小学校数(+)	42.4
		可住地面積あたり中学校数(+)	42.1
		可住地面積あたり高等学校数(+)	44.8
		一施設あたり小学生数(-)	68.0
		一施設あたり中学生数(-)	56.2
		一施設あたり高校生数(-)	55.0

指標分類	因子名称	因子内容	偏差値
精神	教育環境の選択可能性	大卒・院卒者の割合(+)	41.0
		可住地面積あたり大学・短期大学の数(+)	47.0
		可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数(+)	47.1
	事業創造	クリエイティブ産業事業所の構成比(+)	47.3
		新規設立法人の割合(+)	40.7
		従業者10万人あたりコワーキングスペースの数(+)	48.0
		大学発ベンチャー企業数(+)	45.8
		芸術家・著述家等の割合(+)	44.5
	文化・芸術	10万人あたり図書館の数(+)	60.8
		10万人あたり博物館等の数(+)	64.5
		10万人あたり劇場、音楽堂の数(+)	68.6
		国宝・重要文化財（建造物）の数（+）	52.1
		日本遺産の数(+)	44.1
	多様性	自治体における管理職の女性割合(+)	51.1
		市区町村議会における女性議員の割合(+)	36.3
		10万人あたり外国人人口(+)	42.0
		自治体職員における障害者の割合(+)	50.7
		多様性指数(+)	42.8

# 令和4年度 Well-being 主観指標の因子構成

指標分類	因子名称	定義	詳細因子	偏差値
①地域生活の Well-being 【個人因子】 ・地域における市民の主観的な幸せを測る指標 ・慶応義塾大学前野隆司教授らが開発	ダイナミズムと誇り	地域の文化・芸術などが盛んで誇らしく感じる。また地域に賑わいや躍動感があり、出会いや挑戦・成長する機会がある状態	文化・芸術・芸能が盛ん	49.0
			新たな発見や刺激が得られる	45.7
			新たな事に挑戦・成長するための機会がある	46.2
	生活の利便性	日々の生活基盤（商業・医療・教育・交通機関・公共施設など）が整っており、利用しやすく不便を感じていない状態	日常の買い物にまったく不便がない	49.0
			医療機関が充実している	49.9
			公共施設は使い勝手がよく便利	45.7
	自然の体感	地域では自然（海・山・里山・川・湖等）が身近に感じられ、四季折々に向き合うことに喜びがある。また空気や水などが清浄だと感じられている状態	身近に自然を感じる	56.4
			自然と向き合う喜び	54.1
			空気や水は澄んでいてきれい	56.0
	居住空間の快適さ	自身の暮らす住居について、快適で過ごしやすく満足できている状態	自宅の間取りは、使い勝手がよく快適	51.3
			自宅の外観（庭等を含む）には満足	52.3
			自宅には、心地のいい居場所がある	54.2
	つながりと感謝	近隣住民に感謝し、良好な関係が維持できている。気の合う仲間や助け合える知人がいる状態	気の合う仲間や知り合いがいる	56.0
			困ったときに相談できる人が身近にいる	54.9
			私は、近所の方に感謝することが多い	54.2
	健康状態	自身は精神的にも身体的にも健康で、不安をあまり感じることなく、笑顔で過ごせている状態	私は、精神的に健康な状態である	54.5
			私は、身体的に健康な状態である	52.8
			私は、日々の生活において、笑うことが多い	53.1
	地域との相性	地域の街並みや風景に愛着を感じ、雰囲気は自分にとって心地よく感じられている状態	自宅近辺の街並みは、私の好みに合っている	48.9
			雰囲気は、自分にとって心地よい	51.1
			時間の流れ方は、自分にあっている気がする	52.6
	地域行政への信頼	行政施策へ賛同し、納得している。地域政治のリーダーや行政を信頼できている状態	政策には、賛同できる	48.8
			地域行政は、地域のことを真剣に考えている	47.7
			自治体窓口（役場など）は、親切で好感が持てる	51.5
過干渉と不寛容	よそ者に不寛容で、変わった事をすると角が立つ。近隣住民と（自身にとって）程よい距離が保てず、干渉が煩わしく窮屈さを感じている状態	路上にゴミを捨てる人が多い	47.0	
		ゴミ出しや生活ルールを守らない人が多い	51.2	
		騒音に悩まされている	52.4	
生活ルールの秩序	地域の生活ルール（ゴミ出しマナーや交通マナーなど）が守られず、騒音などに悩まされてイライラすることが多い状態	住民同士が過干渉でしがらみが多い	49.4	
		少しでも変わった事をすると周りからとやかく言われる	49.6	
		住民は、地域外から来た人には疑いの目を向ける	50.3	

# 令和4年度 Well-being 主観指標の因子構成

指標分類	因子名称	定義	詳細因子	偏差値
②協調的幸福 【協調因子】(7 因子) ・「場」や「関係 性」に関する地域 で循環する幸せ を測る指標 ・京都大学内田 由紀子教授らが 開発	地域内の社会関係資本	地域内信頼	町内の人たちへの信頼	53.2
			町内の人たちは誠実	52.9
			役所への信頼	51.2
		地域内互酬性の規範	お世話になった町内の人への頼みを断ってはいけない	54.0
			町内には、お互いの役に立つことを求める雰囲気	52.5
			町内にはいざという時に助け合う雰囲気	54.3
		地域内サポート受領	町内には心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる	52.8
			町内には必要なものを貸してくれる人がいる	53.6
		地域内集合活動	参加(自治会)	52.7
			参加(地域行事)	58.1
			参加(趣味関係の活動)	54.5
			参加(自主防災活動)	52.1
			参加(自主介護活動)	52.8
			参加(同年代グループ)	60.6
	参加(同性グループ)		59.1	
	参加(同業者グループ)		53.8	
	参加(地域資源の保全)		62.1	
	参加(冠婚葬祭の手伝い)		63.5	
	参加(ごみの分別活動)	57.2		
	参加(その他)	63.8		
	地域の幸福	個人の主観的幸福	幸福度	52.6
		個人の主観的健康	健康状態	52.5
		地域内他者の幸福	町内の人たちの幸福度	51.6
		協調的幸福感	自分だけでなく周り的人也楽しい気持ちでいると思う	47.9
			大切な人を幸せにしている	49.5
			大きな悩み事はない	50.9
			周りの人に認められている	51.4
平凡だが安定した日々			52.7	
自分のやりたいことができている			53.4	
周囲と同じくらい幸せ			53.3	
人並みの生活	52.4			
周囲と同じくらいうまくいっている	52.6			

# 令和4年度 Well-being 主観指標の因子構成

指標分類	因子名称	定義	詳細因子	偏差値
②協調的幸福 【協調因子】(7因子) ・「場」や「関係性」に関する地域で循環する幸せを測る指標 ・京都大学内田由紀子教授らが開発	地域の一体感	運命共同体	町内の人は私の人生において切っても切れない関係	50.5
		実体性知覚	町内は結束力のある集まり	52.0
		文化的タイトネス	町内の人々はどんな行動がふさわしいかについて同意見	50.4
		自尊心	自分にはいろいろな良い素質があると思う	49.9
			自分のことを好ましく感じる	51.0
		地域への愛着	町内に対して愛着	51.9
		相互協調性	町内の人々が自分をどう思っているかが気になる	48.7
			町内の人と意見が対立することを避ける	51.6
	相互独立性	自分の考えや行動が町内の他者と違っていても気にならない	48.9	
		町内の人々が自分の考えを何と思おうと気にしない	46.6	
	異質・多様性への寛容さ	近隣地域への信頼	近隣の町の住人を信頼	51.8
			近隣の町の住人は誠実に振る舞うと思う	51.3
		一般的信頼	見知らぬ他者であっても信頼	47.4
			ほとんどの人は誠実に振る舞う	50.4
		民主主義	町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気	48.3
	地域の開放性	町外からやってきた人が町内に定住することは喜ばしい	58.0	
	向社会的行動	地域内サポート提供	町内の人々が困っていたら手助けをする	57.2
			町内の人々の相談に乗る	56.1
		主体的な発案・提案行動	町内の役に立つことを提案	52.7
			町内を良くするために今より良いやり方を思いつく	50.5
		促進的貢献	町内において貢献できたりする活動的な一員	50.7
		予防的貢献	町内において協調的な一員	53.1
		近隣地域へのサポート提供	近隣の町に住む人が困っていたら手助け	53.8
	一般的サポート提供	見知らぬ人が困っていたら手助け	53.9	
	多世代共創	将来の見通し	このままではこの町内が将来現状より悪くなってしまふ	44.3
		後継世代への継承	将来生まれてくる世代のために良い環境や文化を残したい	59.6
		温故知新（伝統と革新）	町内は伝統を受け継いでいくべき	55.3
伝統に縛られずに新しい文化をつくるべき			52.5	
町外から違った考え方や価値観を取り入れるべき	53.8			
モチベーション	モチベーションの持ち方	失敗しないことや迷惑をかけないことを重視	52.5	
		成功することや新しい事を実施することを重視	51.2	

# 令和4年度 Well-being 主観指標の因子構成

指標分類	因子名称	定義	詳細因子	偏差値
④センシユアス・シティ 【行動因子】(6因子)+寛容性(1因子) ・実際に、市民が取った行動実績を測る指標 ・LIFULL HOME'S 総研 島原万丈所長が開発	共同体に帰属している	このまちの一員であるという実感が持てるか	お寺や神社にお参りをした	54.0
			地域のボランティアやチャリティに参加した	59.7
			馴染みの飲食店で店主や常連客と盛り上がった	60.8
			買い物途中で店の人や他の客と会話を楽しんだ	56.6
	機会がある	文化的充足や経済的成功の可能性となる機会(チャンス)があるか	刺激的で面白い人達が集まるイベント、パーティに参加した	64.3
			ためになるイベント・セミナー・市民講座に参加した	60.8
			コンサート、クラブ、演劇、美術館などのイベントで興奮・感動した	57.8
			友人・知人のネットワークで仕事を紹介された・紹介した	64.8
	食文化が豊か	地産地消型食生活や観光の切り札となる食文化があるか	庶民的な飲食店で美味しい料理や酒を楽しんだ	56.8
			地元でとれる食材を使った料理を食べた	57.4
			地酒・地ビールなど地元で作られる酒を飲んだ	60.6
			ガイドブックや口コミサイトの評価の高い飲食店で食事した	61.8
	街を感じる	多くの人の活動や営み、賑わいを感じるか	街の風景をゆっくり眺めた	52.7
			公園や路上で演奏やパフォーマンスしている人を見た	57.8
			活気ある街の喧騒を心地よく感じた	57.3
			商店街や飲食店から美味しそうな匂いが漂ってきた	52.6
	自然を感じる	まちの中に自然から感じる心地よさがあるか	木陰で心地よい風を感じた	53.3
			公園や水辺で緑や水に直接ふれた	53.1
			美しい青空や朝焼け・夕焼けを見た	55.0
			空気が美味しく深呼吸した	56.3
	歩ける	まちは歩けるか、歩いていて楽しいか	通りで遊ぶ子供たちの声を聞いた	51.0
			外で思い切り身体を動かして汗をかいた	54.4
			家族と手を繋いで歩いた	55.0
			遠回り、寄り道していつもは歩かない道を歩いた	53.2
寛容性がある	まちには、寛容性があるか	結婚して子どもを持つことこそが女性の幸福だ	47.8	
		血縁者、親戚関係には何かと気を使う	45.7	
		若者は年長者の言うことに逆らえない	47.5	
		LGBTQ(性的マイノリティ)には生きづらい地域	47.6	
		他人の噂話が好きな人が多い	45.9	
		長く積み上げてきたやり方やルールを変えるのに抵抗を感じる	45.8	

# 令和4年度 Well-being 主観指標の因子構成

指標分類	因子名称	詳細因子	偏差値
個別で質問する点を項目として指定。 スマートシティインスティテュートで指定した追加質問を設定	社会貢献	社会貢献のために寄付をした	53.5
	多世代共創2	世代が異なる人と交流した	57.1
	デジタル生活	テレワークで、自宅で働いた	46.2
		オンライン飲み会を行った	46.8
		デジタルで諸手続きを行った	48.0
		オンラインで日用品の買い物を行った	47.9
	事故・犯罪	危険な運転を見かけた	45.3
	介護・福祉	介護・福祉施設のサービスが受けやすい	52.9
	満足度	住んでいる地域の暮らしに満足している	41.0
	移動・交通	好きな時に好きな場所に移動できる	49.1
	自然景観	自慢できる自然景観がある	50.4
都市景観	自慢できる都市景観がある	47.9	